

0JT担当者のための現場で使われる早期戦力を目指す『0JT・教育マニュアル作成の技術』（4119349）

この講座では圧倒的な成果を得るために実践的な講義を行います。基本的な作成法を学び、講師の個別アドバイスを参考にして、講義中に自分の実施したい教育・訓練のマニュアルを作っていきます。

開催日時	2020年2月21日(金) 10:00-17:00
カテゴリー	共通業務（契約管理、BCP、コンプライアンス、人的資産管理、人材育成、資産管理）・セキュリティ・システム監査 ヒューマンスキル
講師	丸山有彦氏 (myコンテンツ工房代表：業務改革・文書コンサルタント) 1962年生まれ。専門学校にて講義およびテキスト作成に従事。同時に歴史研究者に師事し基礎研究法を学ぶ。その後、失語症の言語訓練を研究、渋谷失語症友の会副会長。訓練法を子供の作文指導、職業訓練に応用。その経験から新しい日本語の文法を構築する。現在、企業向けにビジネス文書、文章の指導を行っている。myコンテンツ工房代表。渋谷油絵教室代表。ブログで情報発信をしております。ご興味ある方はご覧ください。http://mycontentslabo.com/
参加費	JUAS会員/ITC：33,000円 一般：42,000円（1名様あたり 消費税込み、テキスト込み） 【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（日本橋堀留町2丁目ビル2階）
対象	後輩に仕事を教える人…OJTを行う人 組織に必要な教育を行う担当者 ノウハウをまとめた と思っている人 社内を学習する組織にしたい人 中級
開催形式	講義・個人演習
定員	30名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
ITCA認定時間	6

主な内容

OJTや社内教育で十分な成果を上げているでしょうか。もっと成果が上げられたらと思う人がたくさんいるはず。この講座では、圧倒的な成果を得るために実践的な講義を行います。講義中に指導者用のマニュアルを完成させましょう。

組織にとって、学習は最重要のものです。成果を上げた訓練の記録は貴重な知的財産になります。この講義で基本的な作成法を学び、講師の個別アドバイスを参考にして、自分の実施したい教育・訓練のマニュアルを作っていきます。

マネジメントの発想に基づいた、目的・目標・手段を明確にする作り方を採用し、「誰に、何を、どのように」訓練・教育するかを考えるマーケティングの手法を使ったプログラムやルール作りをしていきます。

訓練や教育の実践法を文書に記述して、マニュアル化しておけば、自己検証ができるようになります。教育する人が一番学ぶということは知られています。リーダー養成にとっても、OJT・教育マニュアルは必須のツールになります。

ブログでの情報発信は以下です。

ご興味ある方は、こちらをご覧ください。http://mycontentslabo.com/

<内容>

- 0JT・教育用マニュアルの特徴
 - ・業務マニュアル、操作マニュアルとの相違
 - ・0JT・教育用マニュアルの役割
 - ・マニュアルを作る価値：リーダーの養成

2 マニュアルの全体構想

- ・マニュアル作成までの流れ：短時間で作成可能な理由
- ・よくできた OJT・教育用マニュアルから学ぶこと
- ・「目的」「目標」を見出す

3 作成のポイント

- ・多様性のある指導：汎用性のある業務でも
- ・やる気が重要：その場で成果が見える項目作り
- ・優れた教師は少なく教える：少なく教えて成果を上げる

4 コンセプト作り

- ・学習の「目的」は何か
- ・「目標」の設定の仕方
- ・成果の測定の仕方
- ・成果を上げる「手段」の選び方

5 プログラムと指導方法

- ・理解のための基本的な方法
- ・「誰に」「何を」「どのように」
- ・プログラム作りのルール
- ・指導方法のルール

6 実践：マニュアルの作成

- ・各自が作りたいOJT・教育用マニュアルの作成
- ・個別チェックとアドバイス
- ・作成したマニュアルの発表とコメント